

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 BAMBOOHATKIDSかごはら教室		
○保護者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2025年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	2025年12月3日		～ 2025年12月8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○訪問先施設評価実施期間	2025年12月15日		～ 2025年12月20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	2施設	(回答数) 2施設
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援と併用してご利用いただくことで、児童発達支援のサービスにもつなげることができる	保育所等訪問支援と、児童発達支援のサービスを併用してご利用いただくことで、園で確認された課題を児童発達支援のサービス提供内容として支援を行うことができます。	児童発達支援と併用していただくことで、専門スタッフがお子様の課題に対してアプローチを行えますが、スタッフ間での情報共有をより一層図ることで、質の高い支援へとつなげていきます。
2	ご家族の満足度が高い。	ご家族、お子様のご要望や課題に沿った支援を、お子様一人ひとりに合わせたオーダーメイドで行っています。	職員間において、お子様の個別の支援におけるねらいや、活動の目的ねらいの情報共有を図り、充実した支援につなげてまいります。
3	定期的に、保護者様へ面談の機会を設け、お悩みに対するご相談や支援に対するご要望をお受けしている。また保護者様に対して丁寧な説明がなされている。	訪問後に保護者様との面談を実施しております。園でのお子様の様子やこちらが考える課題等を報告書にまとめ詳細に説明させていただいております。また、事業所の運営については、契約時等にできるだけ丁寧な説明をさせていただきます。	引き続き、保護者よりご相談をいただいた際は、詳細を聞き取り、面談等のお時間をいただき、対応いたします。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	関係機関への訪問頻度が十分とは言えず、情報共有や連携をより強化していく必要がある。	・保護者様より訪問のご要望をいただいているが、日程調整や人員配置の課題から、希望通りの訪問対応が難しい状況がある。	訪問頻度が十分とは言えない状況があるが、関係機関連携加算を活用し、園訪問等を通じた情報共有の機会を確保するとともに、訪問対象や目的を整理し、計画的な訪問の実施を目指していきます。また、訪問が難しい場合には、電話や書面等を活用し、継続的な連携体制の構築に努めます。
2	スタッフ間で、支援プログラムや狙いなどが十分に共有できていない部分がある	スタッフ間で、支援プログラムや狙いなどが十分に共有できていない部分があり、全スタッフが狙いや目的を示し共通の理解ができるようになるとより質の高い支援を提供できると考えます。	スタッフ間でのさらなる情報共有を行い、支援プログラムや個別のねらいなどの共通した認識の元で支援を実施することで、より一層質の高い支援を提供してまいります。